

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市清水区生涯学習交流館21館		
課 名	生涯学習推進課		
指定管理者名	清水区生涯学習交流館運営協議会		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和8年5月29日（金）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 大石 誠（参与兼生涯学習推進課長） ②委 員 角替 弘規（静岡県立大学食品栄養科学部教授） ③ “ 千野 和子（公益財団法人ふじのくに未来財団理事） ④ “ 石川 賀久（市民自治推進課長） ⑤ “ 島田 裕介（参与兼教育総務課長）		
評価点 (各委員平均点)	87点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	総合評価では、清水区生涯学習交流館が市民の交流の拠点として、「市民の自発的な学習活動を支援することにより、学習活動を通じて地域の交流及び連携を図り、もって市民主体のまちづくりを推進する」という「静岡市生涯学習施設条例」の目的を理解した管理運営がなされていることに高い評価を受けた。利用者満足度も高く推移しているため、今後も引き続き適正な管理運営を実施していただきたい。 講座等の事業については、指定管理業務仕様書が定める水準以上の講座数が幅広い分野で実施されているため、今後も継続するとともに、多様化・複雑化する社会的課題、利用者のニーズを把握した上で創意工夫を期待したい。 貸室稼働率の低下は様々な原因が想定されるが、今後の事業展開や生涯学習団体育成では、生涯学習交流館の特徴である地域に根差した人が集まる拠点として若者等を巻き込むなど、新たな利用者層の開拓に向けて、より効果的な取組にチャレンジしていただきたい。		

総合評価結果総括表

施 設 の 名 称 [静岡県清水区生涯学習交流館21館]

課名[生涯学習推進課]

指定管理者名 [清水区生涯学習交流館運営協議会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平 均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 施設の設置目的及び管理運営に関する方針に沿った運営がされている。	8	10	8	10	8	8.8
(イ) 生涯学習事業が適切に実施されている。	15	12	12	12	12	12.6
(ウ) 社会教育事業が適切に実施されている。	5	4	4	4	3	4
(エ) 施設の保守・管理・点検等の維持管理業務が適切に実施されている。	5	5	5	5	5	5
(オ) 事務事業事故や災害等の危機管理が適切に実施されている。	5	4	5	4	5	4
(カ) 業務を適切かつ円滑に行うための経済的基礎を有しており、適切な会計処理がされている。	5	4	4	4	5	4
(キ) 効果的な広報媒体を使用して、市民への情報発信が実施されている。	4	4	3	4	3	3
小 計	47	43	41	43	41	43
2 指定管理者の創意工夫	【配点20点】					
(ア) 職員の専門性の向上に資する取り組みが実施されている。	4	5	4	5	4	4.4
(イ) 専門性の高いもの及び人材育成等、生涯学習事業が工夫して実施されている。	4	4	4	5	4	4.2
(ウ) 施設の特徴が活かされる事業や創意工夫がされている取り組みが実施されている。	8	8	8	10	8	8.4
小 計	16	17	16	20	16	17
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点20点】					
(ア) 利用者の満足度調査を実施し、要望や苦情等に対する適切な対応が行われている。	10	10	10	10	10	10
(イ) 施設の利用状況、稼働状況を把握し取り組みが実施されている。	6	10	8	8	8	8
小 計	16	20	18	18	18	18

4 施設固有の評価項目	【配点10点】					
(ア) 市直営又は他の管理者が管理する施設との複合施設については関係者との調整を行い円滑な施設運営に努めている。	5	5	5	5	5	5
(イ) 図書室・図書コーナーの運営を適切に実施している。	3	5	3	4	5	4
小 計	8	10	8	9	10	9
合 計	87	90	83	90	85	87

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】 全体的な施設の管理運営は、利用者の声に寄り添い、概ね良好に行われている。 生涯学習事業や社会教育事業は、仕様書等に基づき指定回数を上回る実施を心掛け、幅広い分野に対応している。引き続き、職員の資質向上に向けて、資格取得への支援などを進め、質的な成果につながる講座の企画運営を進められたい。 貸室稼働率の低下は様々な原因が想定されるが、今後の事業展開や生涯学習団体育成では、人口減少や価値観の多様化、デジタルの日常化など急速な社会変化に対応するため、地域に根差した人が集まる拠点として若者等を巻き込むなど、新たな利用者層の開拓に向けて、より効果的な取組となるよう期待したい。
【B評価委員】 社会全般の多様化・複雑化を背景としたより多様なニーズが出現しつつあると思われ、生涯学習・社会教育の重要性は今後一層高まっていくものと思われます。こうしたこと前提に、様々なニーズに柔軟に対応できるようさらに工夫を重ねていただきたいと思います。 市の財政状況がますます厳しくなる中で、館の運営に大変ご苦労されていることがよく分かりました。またそのような中であっても、様々な工夫を凝らしながら利用者が快適に館を利用できる環境整備や講座開設に真摯に取り組まれていることについて、大変好感を持ちました。今後もこうした姿勢をもって運営に当たられることを期待します。
【C評価委員】 利用者満足度は高い水準にあり、人員確保が難しい状況でも、人件費や休暇制度の見直し等により必要な体制の確保に努めるなど、限られた体制の中で適切に管理運営されている。 講座事業においては、各年度を通じて仕様以上の水準で事業が実施されている。また、地域課題等を解決するための人材育成講座についても全館で取り組まれており、重点目標を踏まえた講座展開が図られている点も評価できる。

【D評価委員】

全体として施設の管理運営は適切に実施されている。

講座の提供については求められている水準以上の講座数を実施しており、人材育成等に関する事業や施設の特色を活かす事業は、それぞれの館で地域に根差した団体や地元企業、行政との連携し、工夫しながら実施されている。

今までと同様の社会教育士等の取得支援に加え、他館の講座を見に行くなど職員の資質向上に資する取組、人事異動基本方針の策定や夏季休暇の試行など職員のモチベーションアップにつながる取組も新たに実施され充実してきている。

現行の利用者満足度調査では満足度は高く、要望や苦情への適切な対応が取れている。

しかし、SNSを活用した情報発信の取組が実施されているものの、地域の若者世代や子育て世代へ届ける工夫が必要と感じる。

稼働率は変わらない数値で推移しており、市全体の人口が減少していくなか、稼働率が上昇しない理由・背景や地域住民ニーズなどの分析が必要であり、現利用者層だけでなく、将来の利用者につながる世代がより使い安くなるような取組を期待したい。

【E評価委員】

全体的に、限られた予算内で指定管理業務を仕様書に沿って、丁寧に適切にこなしていることはたいへん高く評価できる。

市内には類似した講座や研修を開催している施設も多く、地域の独自性を打ち出していくことが求められる。そのためには、地域ニーズを適切に把握した上での企画を盛り込み、これまで交流館を利用したことのない住民の参加を促すような社会教育事業を期待する。地域の独自性を打ち出すことで、地域外住民にとっても魅力ある存在になり得る。

評価委員会としての意見

全体として、清水区生涯学習交流館が市民の交流の拠点として、「市民の自発的な学習活動を支援することにより、学習活動を通じて地域の交流及び連携を図り、もって市民主体のまちづくりを推進する」という施設の設置目的に沿った管理運営が適正に実施されている。

講座等の事業については、幅広い分野に対応するとともに、人材養成等に関する事業や施設の特色を活かした事業等、各館で講座内容を工夫しながら、仕様書の規定を上回る回数を実施している。このように、質・量ともに求められる水準以上のものを実施していることから、今後も継続するとともに、社会的課題や地域・利用者のニーズを捉え新たな利用者層の開拓や利用率の向上に向け、より効果的な取組が実施されることを期待する。

また、職員の社会教育主事等の取得支援や、職員が他館の講座を視察するなど、職員の資質向上に資する取組が実施されているほか、人事異動基本方針の策定や夏季休暇の試行など、職員のモチベーションアップにつながる取組も充実してきている。引き続き職員の資質向上に取り組み、生涯学習施設としての専門性の向上とともに、生涯学習交流館の地域における存在価値を高めることを期待する。